

2023 年度 第 3 回 10 月名大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

問題 I

問 5 説明 2 点

陸地が隆起している。

【加点ポイント】

○<2 点> 【変動の内容】

隆起／地面の上昇／陸地の高度が上がる など

問 5 地域 2 点

○ボスニア湾岸／バルト海沿岸／バルト楕状地／スカンディナヴィア半島中部

／スウェーデンからフィンランドにかけての地域 など

問 6 滝の名称 1 点 ○イグアス滝／イグアスの滝

問 7 説明 4 点

E 州には英語話者が多く、ケベック州にはフランス語話者が多い。

【加点ポイント】

①<2 点> 【E 州 (オンタリオ州) について】

※「問 1E : オンタリオ」の可否は問わないが、本問を他の州名で答えている場合は加点しない。

○英語話者が多い／英語の割合が高い (66%) / イギリス系が多い

②<2 点> 【ケベック州について】

○フランス語話者が多い／フランス語の割合が高い (77%) / フランス系が多い

問 9 8 点

作物の収穫・選別・出荷などの労働集約的な季節労働において、ヒスパニックの安価な労働力を利用できる。

【加点ポイント】

①<4 点 (2 点×2)> 【野菜・果物の生産の特徴】

- 労働集約的／人手が必要／収穫（選別・出荷）など機械化できない作業（手作業）が多い →2 点
- 季節労働である／繁忙期と閑散期がある →2 点

②<2 点> 【労働力として】

- ヒスパニック
- △移民／黒人 →1 点

③<2 点> 【③の利点】

- 安価な労働力である／人件費が安い

問題Ⅱ

問 1(2) 6 点 (各 3 点×2)

- 家畜の飼料用／飼料／家畜のえさ →3 点
- バイオ燃料／バイオエタノール →3 点 (※「製造用／原料」などの有無は不問)

問 1(4) 8 点

C のアルゼンチンでは、温帯草原の（湿潤）パンパにおいて生産されている。

【加点ポイント】

①<4 点> 【C の国名】

- アルゼンチン

②<4 点> 【イ（トウモロコシ）とオ（大豆）の生産地域について】

- パンパ／湿潤パンパ／温帯草原
- △「草原／乾燥パンパ」のみ →2 点

問 1(5) 8 点

D のブラジルでは、熱帯草原（疎林）のカンポセラードで生産されている。

【加点ポイント】

①<4 点> 【D の国名】

- ブラジル

②<4 点> 【イ（トウモロコシ）とオ（大豆）の生産地域について】

- カンポセラード／カンポ／セラード／熱帯草原／長草草原／疎林の混じる草原
- △「草原」のみ →2 点

問 2(3) 8 点

インド・中国（・インドネシア・ブラジル）などでは自給的に生産されており，人口が多いため輸出余力が低い。

【加点ポイント】

★「問 2(1)キ：バナナ」の正解を加点の前提とする。

①<4 点 (2 点×2)> 【キ (バナナ) の上位生産国】

- |         |   |                   |
|---------|---|-------------------|
| ○インド    | } | ○1 つ 2 点<br>4 点まで |
| ○中国     |   |                   |
| ○インドネシア |   |                   |
| ○ブラジル   |   |                   |

②<2 点> 【①の国々の特徴】

- 人口が多い

③<2 点> 【①の国々での生産 (消費) の特徴】

- 自給的に生産される／自給用である／国内消費量が多い／輸出余力が低い／輸出に回らない

問 2(4) 12 点

ドイモイ政策による社会主義市場経済の導入によって，農家の生産意欲が増大し，輸出を目的とした商業的農業が盛んになったため。

【加点ポイント】

★「問 2(2)J：ベトナム」の正解を加点の前提とする。

①<4 点> 【生産量増加の背景となった政策名】

- ドイモイ政策／ドイモイ／ドイ・モイ  
△「刷新」のみ →2 点

②<4 点 (2 点×2)> 【政策の内容】

- 社会主義 (共産主義) 体制下で／社会主義を維持したまま／計画経済は残して →2 点  
○市場経済を導入／市場経済化／自由経済を導入／経済開放政策 →2 点  
※◎「社会主義市場経済の導入」→4 点

③<4 点 (2 点×2)> 【②の影響】

- 農家の生産意欲が増大 →2 点  
○輸出を目的とした生産が増えた／商業的農業 (販売用の生産) が盛んになった →2 点

問題Ⅲ

問 1 12 点

A のエスチュアリーは，氷期の海面低下により河口部で形成された谷へ，氷期が終わり再び海水が浸入してつくられた。B のリアス海岸は，河川の侵食によって形成された V 字谷が多くみられる山地に海水が浸入してつくられた。

(次ページに続く)

【加点ポイント】

i) A について (6 点)

①<2 点> 【地形名】

○エスチュアリー／エスチュアリ／三角江

②<4 点 (2 点×2)> 【元の地形と成因】

○河口部／河口 →2 点

○海水が浸入 (侵入) した／沈水 (沈降) した →2 点

ii) B について (6 点)

①<2 点> 【地形名】

○リアス海岸／リアス式海岸

②<4 点 (2 点×2)> 【元の地形と成因】

○V 字谷／峡谷 →2 点 (×U 字谷)

○海水が浸入 (侵入) した／沈水 (沈降) した →2 点

問 2 6 点

夏季は北上する亜熱帯高圧帯の影響が強いため、日照の強い晴天が続いて高温乾燥となり、冬季は亜寒帯低圧帯に覆われるうえ、温帯低気圧が偏西風に流されて通過するため湿潤となる。

【加点ポイント】

①<1 点> 【夏季の気候の特徴】

○乾燥する／降水量が少ない／雨が降らない

×「高温」のみ

②<2 点> 【①の成因】

○亜熱帯高圧帯 (中緯度高圧帯) の影響

③<1 点> 【冬季の気候の特徴】

○湿潤である／降水量が多い／雨が降りやすい

④<2 点> 【③の成因】

○亜寒帯低圧帯 (高緯度低圧帯) の影響／温帯低気圧の影響／偏西風が湿潤な風をもたらす

△「亜熱帯高圧帯 (中緯度高圧帯) の影響下から外れる」のみ →1 点

問 3(1) 6 点

フランスでは農地の集約化による経営規模の拡大により、大規模な小麦の単一生産が行われている。

【加点ポイント】

①<2 点> 【②の国名】

○フランス

②<2 点> 【主に栽培される穀類】

○小麦

(次ページに続く)

③<2 点> 【生産の特徴】

- 大規模な生産／企業的／経営規模が大きい／農地の集約化が進む／農家一戸当たりの農地が広い  
／大型機械の導入／機械化が進む

問 3(2) 8 点

③のオランダでは、温室などを用いた施設園芸での栽培が盛んであるのに対し、④のイタリアでは、温暖な気候を生かした輸送園芸農業での栽培が盛んである。

【加点ポイント】

i) <2 点> 【③の国名】

- オランダ

ii) <2 点> 【③の野菜生産の特徴】

- 温室栽培が盛ん／施設園芸が盛ん／近郊農業が盛ん  
／AI 利用などによる農業の工業化／スマートアグリ の推進

iii) <2 点> 【④の国名】

- イタリア

iv) <2 点> 【④の野菜生産の特徴】

- 温暖な気候を利用／輸送園芸農業／トラックファーミング／遠郊農業が盛ん

問 5 7 点

第 3 のイタリア（サードイタリー）と呼ばれ、伝統工業をもとにした付加価値の高い衣類や皮革製品・宝飾品などを、中小企業の連携によって職人の技術を生かして製造する、産業に特色がある。

【加点ポイント】

①<3 点> 【W 地域の呼称】

- 第 3 のイタリア／サードイタリー

②<4 点 (2 点×2)> 【工業の特色】

- 伝統工業／職人の技術を生かす／熟練工による／手仕事／中小企業による
- 付加価値が高い／高品質／高級品
- 衣類／皮革製品／ガラス工芸／宝飾品など

○1 つ 2 点  
4 点まで

問 6 8 点

都市 X のトゥールーズに本拠地を置くエアバス社は、EU 圏内を中心とした国際分業で生産された部品を集めて組み立てる方式で航空機製造を行っている。

【加点ポイント】

①<2 点> 【X の都市名】

- トゥールーズ／トゥルーズ

②<1 点> 【企業名】

- エアバス社／エアバス

(次ページに続く)

③<1 点> 【②の工業種】

- 航空機製造／航空機工業／飛行機の組立（製造）
- ×航空業

④<2 点> 【生産の特徴】

- 国際分業による／国外で製造された部品を組み立てる

⑤<2 点> 【④の入手先など】

- EU 圏内／EU 内は無関税である

問 7(1) 4 点

北部のオランダ語系フラマン人と、南部のフランス語系ワロン人との間で対立がみられる。

【加点ポイント】

①<1 点> 【一方の民族について】

- ・北部（に住む）
- ・フラマン人／フランドル人／フレミッシュ／フラマン語を話す } 2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【①の言語系】

- オランダ語／オランダ語系／オランダ系

③<1 点> 【他方の民族について】

- ・南部（に住む）
- ・ワロン人／ワロン語を話す } 2 つ揃って○1 点

④<1 点> 【③の言語系】

- フランス語／フランス語系／フランス系

問 7(2) 4 点

プロテスタントのイギリス系住民と、カトリックのアイルランド系住民との間で対立がみられる。

【加点ポイント】

①<1 点> 【一方の民族について】

- イギリス系

②<1 点> 【①の宗教】

- プロテスタント
- ×キリスト教

③<1 点> 【他方の民族について】

- アイルランド系／ケルト系

④<1 点> 【③の宗教】

- カトリック
- ×キリスト教

問8 10点

イのフランスでは、アルジェリアやモロッコなど、旧植民地である北アフリカからの移民や難民として移り住んできた人々が多い。また、エのドイツでは、第二次世界大戦後の経済成長期にトルコから労働者として移り住んできた人々が多いが、近年はシリアなど中東から多くの難民が流入している。

【加点ポイント】

i) イ（フランス）について（4点）

①<2点> 【移民の出身国の例】

○アルジェリア／モロッコ／チュニジア

△「北アフリカ」のみ →1点

②<2点> 【移り住んだ背景】

○（フランスの）旧植民地である／（フランスが）旧宗主国である

ii) エ（ドイツ）について（6点）

③<2点> 【移民の出身国】

○トルコ

④<2点（1点×2）> 【移り住んだ背景】

○第二次世界大戦後／経済成長期 →1点

○労働者として／ドイツが出稼ぎ労働者を受け入れた →1点

⑤<2点（1点×2）> 【近年の移民について】

○シリア／アフガニスタン／イラク／パキスタン →1点

○難民（戦乱やテロから逃れた人々）が流入／難民を受け入れている →1点